

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 4月

福島県立医科大学脊椎脊髄外科アカデミー 渡邊和之

■ 研究課題名

腰部脊柱管狭窄症患者の手術後腰痛改善予測における Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopaedic Patients (BS-POP)の有用性の検討

■ 研究期間

2026年4月 ～ 2028年3月

■ 研究の目的・意義

腰部脊柱管狭窄症は、腰痛や下肢痛をきたす疾患ですが、手術によって腰痛が良くなる人とあまり良くならない人の違いは、まだ分かっていない点が多くあります。実際、腰椎の変形が強くて腰痛が軽かったり、手術が予定通り行われても腰痛が良くならない場合があります。これらのことから、腰痛の改善には、腰椎の構造上の問題や手術の成否とは別に、影響する因子があると考えられます。当科では、手術前に手術成績不良を予測するために、整形外科患者に対する精神医学的問題評価のための簡易質問票 (BS-POP) を独自に作成して、手術前の検査に用いてきました。過去の研究で手術前の BS-POP 得点が低いと手術に対する満足度が低下することがわかっています。本研究では、この点について私たちが独自に開発した質問票を用いて、精神医学的問題が腰痛の改善に影響しているかどうかを調べます。

■ 研究対象となる方

2003年から2019年の間に福島県立医科大学整形外科で腰部脊柱管狭窄に対して手術を受けた方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、性別、治療内容、アンケート調査結果、レントゲン所見、手術後1年時点での症状などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年5月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は脊椎脊髄外科アカデミー 渡邊和之です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他機関への提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学整形外科学講座内 脊椎脊髄外科アカデミー

担当：渡邊和之

電話：024-547-1276 FAX：024-548-5505

e-mail：fortho@fmu.ac.jp